



下大和田谷津田だより



2006年 5月号

第75回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告 4月2日(日) くもり

どんよりと曇った今にも降りだしそうな天候でしたが、谷津の花は一杯に咲いていました。

林床にはタチツボスミレが満開で見事でした。アカネスミレも咲いていました。フデリンドウも資料の写真のように咲いていたのですが日照がないせいか蕾の状態でした。

ウグイスの囀りが絶え間なく響き、シュレーゲルアオガエルも鳴き始めていました。

生き物は天候が寒いせいか、ほとんど姿を現しませんでした。

開花植物：ハルジオン、ハハコグサ、ノボロギク、セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、キュウリグサ、フデリンドウ、タチツボスミレ、ツボスミレ、アカネスミレ、カラスノエンドウ、カタバミ、ヘビイチゴ、ナズナ、タネツケバナ、クサノオウ、タガラシ、オランダミミナグサ、ノミノツヅリ、ミドリハコベ、コハコベ、ノミノフスマ、スズメノヤリ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、シュラン、ヤマザクラ、オオシマザクラ、モミジイチゴ ミツバアケビ、コブシ、アオキ、ヤナギsp、カンアオイ、スギナ。

野鳥：キジ、ヒヨドリ、ウグイス、セグロセキレイ、エナガ、ツグミ、モズ、ジョウビタキ、シジュウカラ、カシラダカ、アオジ、(声)

昆虫：ナナホシテントウ、ツマグロオオヨコバイ。

その他：ニホンアカガエル・オタマジャクシ、メダカ、マルタニシ、カワナ、ヒメモノアラガイ。ウサギの糞。イタチの足跡、哺乳動物の足跡、(イヌ以外)

(参加者：大人5人；報告：網代春男)

第59回谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP)

「みんなでわいわい！田起こし」

4月22日(土) 晴れ

とてもよい天気にも恵まれたのですが、参加者はとても少なく、常連の11人プラス子どもがたった一人と田起こしとしてはこれまでで最少の人数でした。でも精鋭部隊の活躍で作業はどんどん進みました。まずはみんなの田んぼの畦の補修とクロ塗り。崩れたところを直してクロ付けをすると、見違えるほど田んぼらしい田んぼになりました。毎年悩まされるカヤネズミ田のイボクサの草取りは今年も大変な作業で、手の握力がなくなるほどでしたが、それでもみんなで取りかかって全部取り去ることができました。草がなくなったカヤネズミ田もすっきりさっぱり、とてもきれいです。

次は今年からお手伝いをはじめた上流の方の田んぼ。はじめての田んぼなので、水回しがどうなっているのか、どんな土質なのかなど確かめてから、取りあえず畦を補修して水が貯まるようにしました。田んぼから水が湧いているほどじめじめした田んぼで、畦がとても崩れやすいようです。丁寧に日頃の手入れをしてはじめてきれいな田んぼになるようで、これまで米づくりをしたきた方のすごさを感じました。夕方までかかって畦の応急措置を何とか終えられました。

みなさん、へとへとになりながらも笑顔一杯で作業をしていただき、本当に有り難うございました。田んぼの作業は大変ですが、みんなで話をしながら、シュレーゲルアオガエルの軽やかな鳴き声やウグイスやメジロのさえずりに応援されながらの仕事なので、楽しいですね。全身の筋肉を使う田んぼの作業はもしかすると最高のエクササイズかもしれません。

(参加者：大人11人 幼児1人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

4月 9日 ウグイスがあちこちでさえずり、斜面林ではヤマザクラが満開。田んぼではシュレーゲルアオガエルが弱々しい声で鳴く。斜面林の縁を弱々しく飛ぶ羽化したてのシオヤトンボを見かけた(高山)

4月15日 ニョイスミレ、ムラサキケマン、トキワハゼなど次々と開花し、谷津田は花盛り(高山)

4月22日 畦のあちこちにシュレーゲルアオガエルの卵塊。カワトンボの姿をはじめしてみる(高山)

4月30日 アシ原で餌をもらう2羽のモズの子ども。サワフタギにまだ小さなシタホタルガの幼虫がたくさん出現(高山)

5月 1日 きれいにブルーに色づいたホソミオツネトンボが田んぼを飛ぶ。おだ掛けの竹を仕舞ってあるところにネコハエトリのオスがたくさんいて歩き回っていた。林の中では道を形作って置かれたスギの上にとくさんのヒメスギカミキリがいた(網代)

田植えが終わった田んぼはシュレーゲルアオガエルの軽やかな鳴き声であふれています。アマガエルも田んぼに戻ってきました。シオヤトンボやカワトンボの姿も見られるようになり、トンボの季節のはじまりです。畦は草花の花盛り、林は芽吹いた木々が色鮮やか。湧き出す命にあふれ、気持ちのよい季節ですね。

高山邦明